

いやだ  
イヤ田

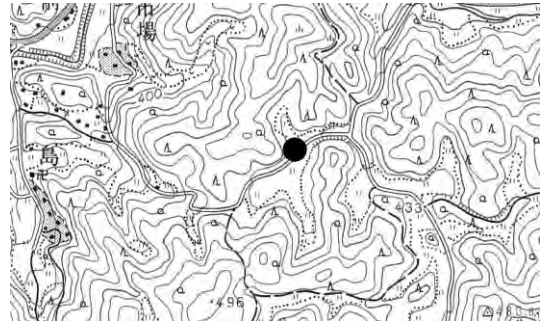
所在地 豊田市下山田代町地内  
(北緯 35 度 1 分 34 秒  
東経 137 度 18 分 54 秒)

調査理由 豊田・岡崎地区研究開発  
施設用地造成事業

調査期間 平成 22 年 12 月～  
平成 23 年 1 月

調査面積 780 m<sup>2</sup>

担当者 鵜飼雅弘・白井克尚



調査地点 (1/2.5 万「東大沼」)

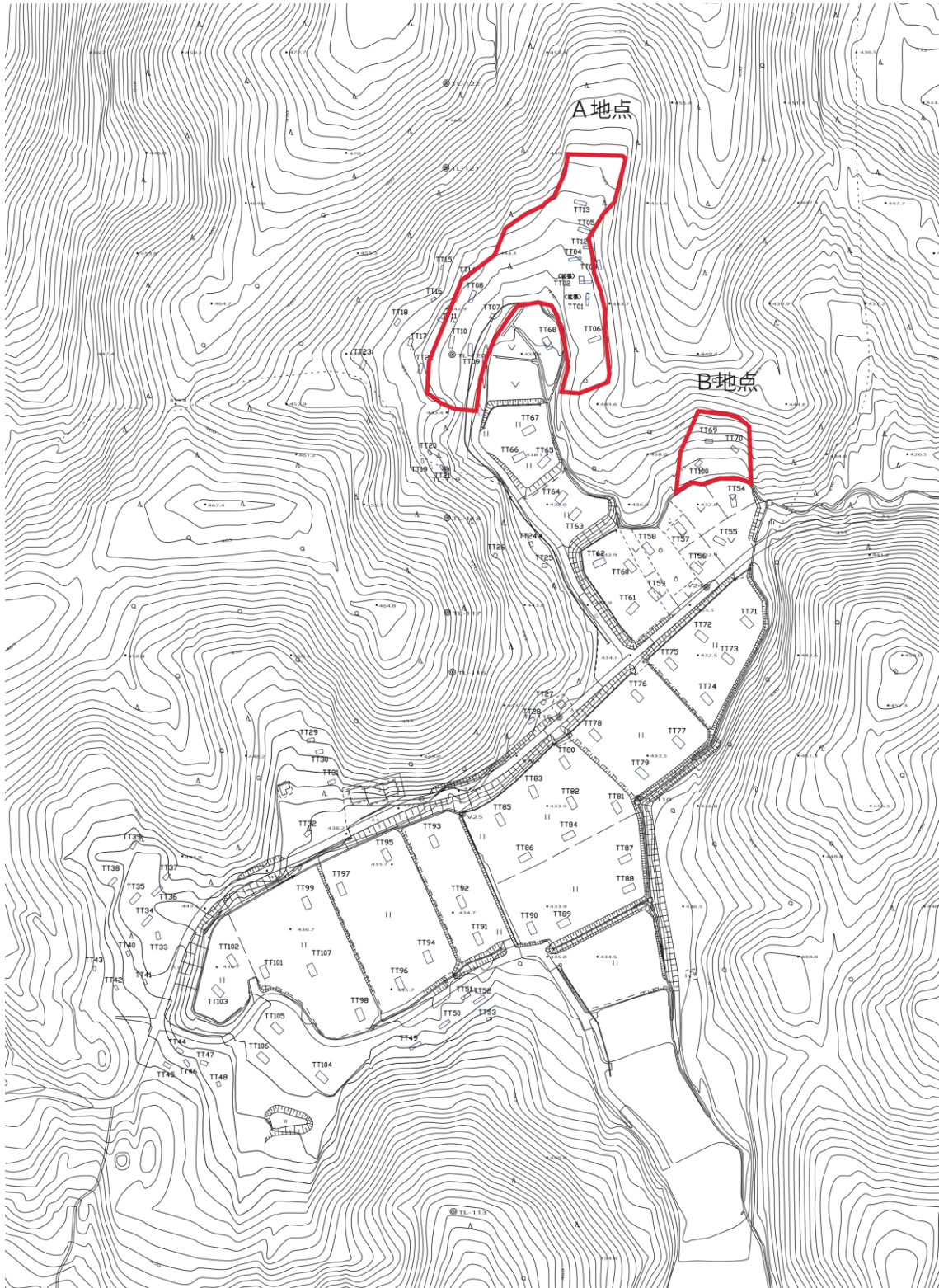
調査の経過 イヤ田は県教育委員会の詳細分布調査により、遺物散布地として確認された遺跡である。豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成に伴う範囲確認調査として、愛知県企業庁より委託を受け実施した。

立地と環境 イヤ田は沖川支流の樹枝状に広がる谷と丘陵緩斜面に立地する。標高は 430m から 440m をはかる。調査地点の南には朴ノ木遺跡、東には野田内遺跡が隣接する。

調査の概要 調査では 107 カ所の試掘坑を南北方向、東西方向に伸びる 2 本の谷、および谷に面した丘陵緩斜面に設置した。調査面積は 780 m<sup>2</sup> である。

このうち TT01、TT02、TT06、TT13 の褐色土から近世陶器、TT07、TT08、TT09、TT10 の暗褐色土から灰釉陶器、山茶碗、内耳鍋等古代・中世の遺物が出土した (A 地点)。これらの試掘坑からやや南に離れた緩斜面 TT69 の黒褐色土からは、古代の土師器が出土した。同様の堆積は TT70 でも見られる (B 地点)。A 地点、B 地点とも明確な遺構は認められなかったものの、当該期の埋蔵文化財包蔵地とすることができる。

一方、水田部分のオリーブ黒色土からは中世、近世の遺物が一定量出土したが、当該地は沼状の自然流路であったと推定され、遺物は A・B 両地点からの流れ込みと判断される。(鵜飼雅弘)



イヤ田 試掘坑位置(S=1:2,000)